



ひまわり

Himawari

ご自由にお持ちください

膝の痛みで困っていませんか？

膝関節に対する 再生医療

「PDF-FD 療法」
開始します。

注射のみ

手術不要

日帰り



- 膝関節に対する再生医療「PDF-FD 療法」
- トコロで働くヒト
- 栄養科アンケート結果
- TOKORO NEWS
- Information

VOL.136
2025.11

膝の痛みで困っていませんか??

膝関節に対する 再生医療

患者さんの血液を活用し、
鎮痛・抗炎症・自己修復機能を
活性化します

注射のみ

手術不要

日帰り

こんな悩みはありませんか？

- 膝が痛くて歩きにくい
- 階段やしゃがむことがつらいヒアルロン酸注射を長期間打っている
- 膝に水が何度か溜まったことがある
- スポーツをしていると、関節が痛む
- 関節の痛みから、趣味を諦めている
- 手術以外の方法を試したい

費用
(1部位)

143,000 円 税込

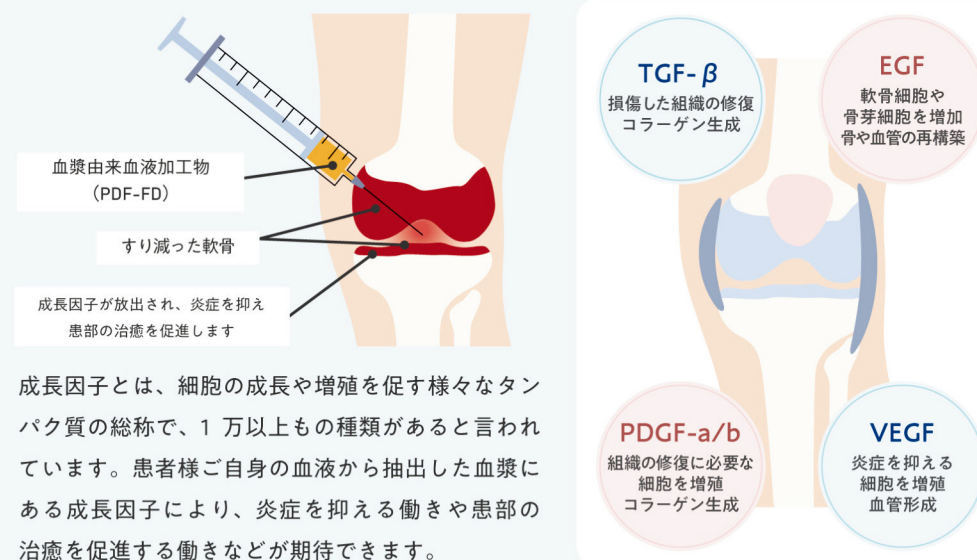
■ 診療の流れ

- ①診察：問診・検査を行い適応を判断します（保険診療）
- ②血液採取（自費診療）
- ③PDF-FD注入（自費診療）
- ④経過観察：定期的に診察を行い、必要に応じてリハビリを行う（保険診療）

◆PDF-FD療法とは？

患者さんご自身の血液を利用したオーダーメイド療法で、採血した血液の中から成長因子を取り出して、凍結乾燥したものを患部へ注射する治療方法です。成長因子を用いて、患者さんに本来備わっている自己修復力を高めることを目的とした治療法です。

成長因子の働き



成長因子の3つの効果



さらに!!
3 患者様にうれしい
ポイント



1 無添加製法の オーダーメイド治療

ご自身の血液を使ったオーダーメイド注射です。加工の工程で添加物を一切加えていない無添加製法により、血液感染症や副作用などのリスクが少なく患者様に優しい治療法です。

※副作用には個人差があります。
※痛み・腫れ等の注射部位反応が起こることがあります。



2 お好きなタイミングで 治療可能

採血後、約2～3週間後から治療可能です。血液加工後最大6か月間は保存可能のため、医師とご相談の上、治療のタイミングが選べます。



3 入院不要! (日帰りOK)

採血と注射で完結する治療法のため、入院は不要。日帰りOKなので患者様の時間を大切にします。

※医師の判断によっては追加の治療等が必要になる場合がございます。



お気軽にご相談ください
担当医：金井 洋

診療日

月	火	水	木	金	土
●	×	●	×	×	●
×	×	×	×	×	×

ご予約：0557-82-3000

トコロで働くヒト

熱海所記念病院で活躍する、さまざまな分野のスペシャリスト・ジェネラリストを紹介します。

Vol.4 WOC：皮膚・排泄ケア認定看護師

今回は、熱海所記念病院ではたらく「皮膚・排泄ケア認定看護師」の大石さんをご紹介します。
認定看護師とは、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有する者として、日本看護協会の認定を受けた看護師のことをいいます。現在、当院では「感染管理認定看護師」と「皮膚・排泄ケア認定看護師」が活躍しています。

皮膚・排泄ケア認定看護師とは

創傷・オストミー・失禁看護の分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践ができる看護師のことです。WOC看護認定看護師は2007年7月より一般の皆さんにもわかりやすいよう「皮膚・排泄ケア認定看護師」に名称変更されました。英語表記はこれまでと同様に「Certified Nurse in Wound, Ostomy and Continence Nursing」です。皮膚・排泄ケア認定看護師は、ケアの実践だけでなく、医師や看護師等から相談を受けたり、ケア方法について指導したりする役割があります。
それぞれのケアでどのような役割を担っているのか紹介します。

Wound

創傷【きず】

皮膚のトラブルや創傷の発生を予防できるよう、皮膚を健全に保つためにスキンケアを実施します。
また、創傷を治すために、傷の状態や、ベッドや布団などの生活環境などを整えるケアを行います。
たとえば…

- ・洗浄剤や保湿剤、皮膚に被膜を作る保護材などのスキンケア用品を選択して、テープかぶれや皮膚の乾燥などの皮膚のトラブルを予防するケアや発生した皮膚のトラブルを改善するケアを提供します。
- ・どのような人に褥瘡(床ずれ)が発生しやすいのか判断したり、その人の活動状況に合わせてマットレスを選択したりして、褥瘡の発生を予防するケアを検討します。
- ・褥瘡をはじめとする創傷(傷)を治すために、医師と相談して治療計画を検討します。

Ostomy

人工肛門・人工膀胱

ストーマ（人工肛門・人工膀胱）を造る手術を控えている方にストーマケアについて情報提供したり、ストーマを保有されている方のストーマ周囲皮膚の管理、ストーマ装具の選択、日常生活のアドバイス、精神的なサポートなどを行います。
たとえば…

- ・ストーマを造る手術を控えている方の不安が軽減できるよう、ストーマ造設後の生活について説明したり、その人が手術後、ストーマ管理に困らないようストーマの位置決めを行います。
- ・ストーマを造る手術の後、個々に合わせたストーマ装具を選択したり、患者さんおよびご家族にストーマ管理方法や日常生活の工夫などについて紹介したりします。
- ・ストーマ周囲皮膚のかぶれやストーマ装具からの便や尿の漏れの原因を考え、対処方法を検討します。
- ・ストーマを保有されている方が加齢に伴う変化に適応していけるよう、ストーマ外来で定期的に皮膚の観察をしたり、日常生活上の悩みなどの相談を受けたりします。

inContinence

失禁

病気や手術後、加齢によって発生する尿や便失禁の改善を促すケアを行います。
また、失禁による皮膚のかぶれに対する予防や改善のためのケアを行います。
たとえば…

- ・尿や便失禁がある方に適切な用品を選択し、日常生活の注意点について紹介します。
- ・尿や便失禁がある方に排泄物が接触することによる皮膚炎の予防方法や改善方法を検討します。
- ・尿や便失禁の改善に効果がある骨盤底筋体操や肥満・便秘の改善などの日常生活の注意点について紹介します。

INTERVIEW

WOC（皮膚・排泄ケア認定看護師）の大石さんにインタビューしました。

WOC（皮膚・排泄ケア認定看護師）になったきっかけを教えてください

資格取得しようと考えたきっかけは、急性期病院のICUで勤務していたころのことです。緊急でストーマ（人工肛門・人工膀胱）を造設した新生児のケアに関わった際、どのように支援すればよいか分からず、無力さを感じました。また、同様に緊急でストーマ造設された成人患者さんとの関わりでも、ストーマケアに必要な障害受容への関わり方が分からず、業務の一員として関わる事しかできませんでした。患者さんやご家族が少しでも安心して生活できるよう、根拠をもって支援できるようになりたいと考え、皮膚・排泄ケア認定看護師を目指しました。

WOC（皮膚・排泄ケア認定看護師）になってよかったと思ったエピソードを教えてください

WOCになって良かったことは、本当に数えきれないほどあります。どの経験も、患者さんやご家族にとって「Best」ではなくても、その時々で「より良い（Better）」な方法や方向性を一緒に導き出せたと感じられた瞬間に、やりがい強く感じます。また、そうした関わりの中で、多くの方と出会い、さまざまな学びを得られたこと自体が、WOCとして成長できた、良かったと思える大切な時間だったと思います。

院内に向けて現在取り組んでいること

現在は、日々の症例を通して現場の課題を一つひとつ整理し、改善につなげながら活動しています。すぐに大きな変化を起こすことは難しいですが、目の前の患者さんに丁寧に関わることを大切に、そこで得た気づきや学びを今後のケアやチーム支援に生かしていきたいと考えています。
院内全体で皮膚・排泄ケアの質を高め、患者さんが安心して過ごせる環境づくりに貢献できるよう努めてまいります。

TEAM TOKORO 褥瘡対策委員会

院内において多職種が協働し、褥瘡が発生する危険のある患者さんに対し予防策を講じるとともに、褥瘡のある患者さんに対しては悪化を防止し治療の促進を図ることを目的とする組織です。毎週1度委員によるラウンドを行います。

【メンバー】

医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士



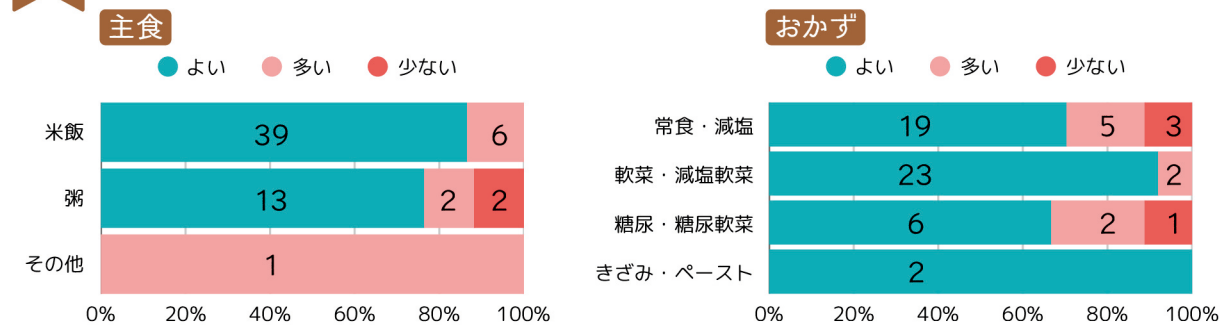


7月の食事アンケート結果

栄養科では入院患者さんを対象に食事のアンケートを定期的の実施しています。

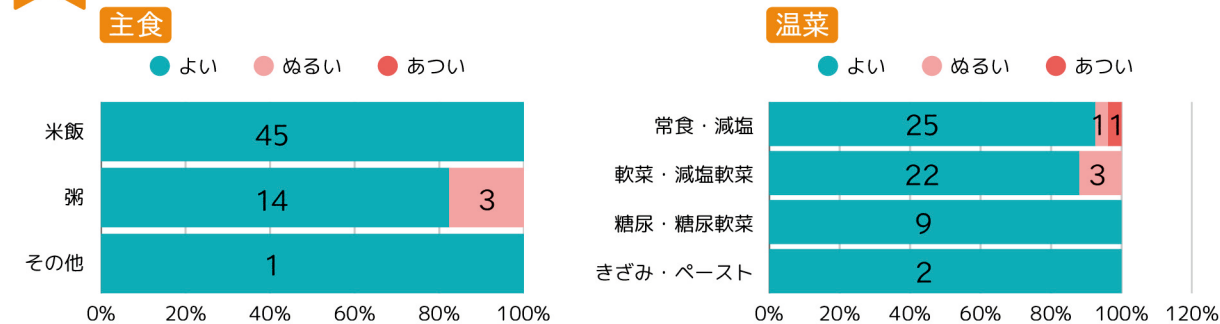
7月3日（木）に実施した結果をご報告します。（一部抜粋）
アンケートへご協力いただいた患者さん、ありがとうございました。

01 食事の量について



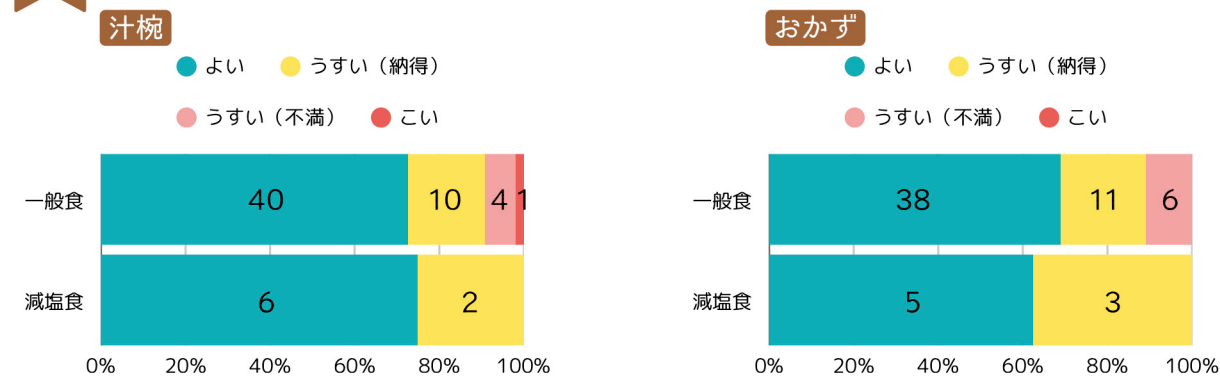
主食は7割以上、副食は7割以上が「よい」と回答していました。今回の結果から食事量に関して全体的に適量が提供されていると考えられます。引き続き患者さんに合わせた食事量を提供できるように努めます。

02 食事の温度について



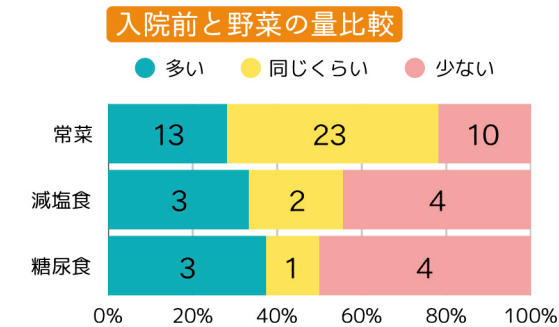
主食は8割以上、温菜は8割以上が「よい」と回答していました。今回の結果から適温での食事提供が継続して出来ていると考えられます。今後も適温で提供できるようにしていきます。

03 食事の味付けについて



汁椀・おかずの味付けともに一般食では約9割の方が、減塩食では全員が「味付けに納得している」と回答をしていました。今回の結果から患者様に満足してもらえる食事の提供ができていると考えられます。一般食、減塩食ともに美味しく召し上がっていただけるよう、今後も献立の見直しを行っていきます。

04 入院前と病院食の野菜の量比較



すべての食種で6割以上が入院前の野菜摂取量と比較し当院での野菜提供量は「同じくらい」「少ない」と回答し、目標値である350gを摂取できていることがわかりました。3割の患者さんは当院での野菜提供量の方が入院前の野菜摂取量より「多い」と回答し、入院前の日常生活では目標値である350gを摂取できていないと考えられます。

今回の調査を実施し、患者さんに提供している食事が多くの方に満足していただけていることがわかりました。今回の結果を踏まえ、今後も継続して栄養面で治療の一環となる食事提供がより良いものになるよう努めていきます。ご協力ありがとうございました。お食事に関してご質問・ご相談があれば、栄養科へご連絡ください。

野菜を食べるといいことたくさん！

ビタミン・食物繊維など多くの栄養素が含まれています

ビタミンは免疫力向上に働きかけます。食物繊維はおなかの調子を整えたり、食後の血糖値の上昇を緩やかにしたりします。高血圧症やコレステロール値の上昇を抑える等の働きもあり、**生活習慣病の予防**に繋がります。

また、野菜はよく噛んで食べる必要があり、満腹感を得ることができるため、食べ過ぎを予防することもできます。

野菜の1日の摂取目標量は350gです

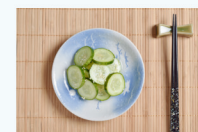
野菜料理の小鉢1つ分は約70gです。1日5皿、野菜料理の小鉢を食べることで、**目標量の350gを達成**することができます。

野菜は種類や切り方によって、多彩な歯ごたえや舌触り感じることができ、甘味、うま味も楽しむことができます。

おすすめメニュー



チンゲン菜のおひたし



きゅうりの酢の物



きんぴらごぼう



煮物



茄子の煮浸し

※画像はイメージです

2025.6-10

トコロニュース

TOKORO NEWS

地域と共に歩む
開かれた病院

熱海所記念病院で行われた様々な行事や、院内外での出来事を発信します



イベント
行事

6月27日 熱海救急医療勉強会

熱海市および近隣地域の救急隊員を対象に、内科・救急科 前田先生による講演を行いました。救急対応時の留意点や病院側の対応について、具体的な症例を用いて解説し、各疾患への理解を深めるとともに、医師と救急隊員が顔の見える関係を築くことを目的として実施しました。オンラインでの参加も含め100名が受講しました。



イベント
行事

7月12日 話の図書館（公開講座）

「高齢者の元気浚刺（はつらつ）を推進する」をテーマに、戸田中央メディカルケアグループ最高顧問・理事長補佐の有賀先生による公開講座を開催しました。高齢者の平均寿命や健康寿命、お口の健康、認知症、社会参加や働くことの意義などを伝えました。あわせて医師・栄養管理士による健康相談会も行いました。



イベント
行事

7月29日 小学生病院見学

熱海市立第二小学校の児童8名が、西部地区町内会「寺子屋」の一環として、お仕事体験と院内見学を行いました。体験では、看護部による「手指消毒・包帯の巻き方・聴診器体験」、リハビリテーション科による「車椅子・杖・装具の体験」を実施しました。見学では薬剤科、臨床検査科、放射線科、栄養科などを巡りました。掲載写真の血管造影室では、「かつこいい！」と興味津々の様子でした。



イベント
行事

9月9日 もの忘れカフェ（認知症カフェ）

認知症をテーマにした講座を開催し、認知症の方との接し方を学ぶ講座や、嚥下（えんげ）体操、歓談・相談タイムなど、気になることを気軽に話せるイベントを行いました。リハビリテーション科の主催で、熱海市総合福祉センターで実施しました。



イベント
行事

10月19日 ジャパン・マンモグラフィー・サンデー

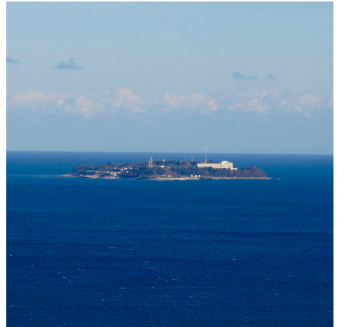
今年も当院では、J.M.S（ジャパン・マンモグラフィー・サンデー）に賛同し、10月19日（日）に乳がん検診を実施しました。J.M.Sは、子育て・介護・仕事・家事などで忙しく、平日に検診を受けに行きにくい女性が、休日の日曜日「乳がん検診」を受けられるよう、全国の医療機関と認定NPO法人J.POSHが協力して毎年10月第3日曜日に乳がん検診マンモグラフィー検査を受診できる環境づくりへの取り組みです。



ニュース

9月18日 「へき地医療拠点病院」静岡県より指定

2025年9月18日付で、静岡県より「へき地医療拠点病院」として指定を受けました。
当院は初島診療所へ内科医師の派遣を行っています。
今後も初島の方々が安心して医療を受けられるよう活動を行います。



ニュース

10月1日 「救急担当医ホットライン」開始

10月1日より、平日日中の救急隊からの電話を内科医師が直接受付けます。
疾患によっては専門医師へ取り次ぎます。救急搬送される前の段階で医師が状況を把握でき、よりスムーズに受け入れ準備が可能になります。



メディア

テレビ出演 「ビートたけしのTVタックル」

循環器内科 金子副院長が8月10日にテレビ出演し、富士山八合目の「富士吉田救護所」でのボランティア活動の様子が放送されました。ボランティア活動には3日間従事し、24時間体制で登山者の命を守る救護所内での活動や、体調の急変やけがなどで助けを求める登山道からの救護要請に迅速にかけつけ、対応する様子が紹介されました。



メディア

医療従事者向け書籍 制作参加 首下がり症候群の診療マニュアル

整形外科 遠藤先生（非常勤医師）と、臨床検査技師の鈴木さんが、制作に携わりました。「首下がり症候群」は、首が前に大きく倒れてしまい、日常生活に大きな支障をきたすことのある疾患です。当院では、2022年から診療を開始し、全国から患者さんを受け入れています。今回のマニュアルでは、当院での診療・検査の経験や知見も活かされています。

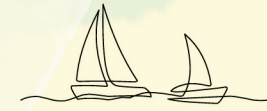


メディア

医療従事者向け書籍 制作参加 輸血カテーテル管理の実践基準

診療看護師（NP） 三重野さんが、全国の看護師が頼りにしている「輸液カテーテル管理の実践基準」の改訂に携わりました。
【三重野NPからのコメント】
看護師の業務の中で静脈ルートの確保は1番多いといっても過言ではない業務です。タスクシフト/シェアの流れで、看護師の新しい役割や新しい静脈ルートも増えてきています。各施設の看護の質の向上と患者安全の確保に貢献できれば嬉しいかぎりです。





2025年度 インフルエンザ・新型コロナウイルス 予防接種のご案内

接種期間 2025年10月1日（水）～2026年2月28日（土）

熱海所記念病院では、2025年度のインフルエンザ予防接種および新型コロナウイルス予防接種を下記の通り実施しています。

●インフルエンザ予防接種について
予約は不要です。受付にてお申込みください。

対象	接種費用（税込）	備考
一般 （高校生以上）	3,300円	
小児 （1歳～中学生）	3,300円	12歳までは2回接種が 推奨されています
熱海市在住の65歳以上	1,500円	市の助成対象

●インフルエンザ予防接種「フルミスト」を開始しました
鼻に噴霧するタイプのワクチンです。

対象	接種費用（税込）	備考
フルミスト	9,000円	2～18歳対象・予約制 （2営業日前までに要連絡）

※小児の場合は、母子手帳を必ずご持参ください。

※小児の接種後は、院内で15分から30分程度の経過観察をお願いしております。

【小児科の受付時間（インフルエンザ接種）】

- ・午前： 8:30～11:00
- ・午後：13:30～15:30

予約について

フルミストのご予約は2営業日前までをお願いいたします。

【予約受付時間】

- ・月～金曜日 9:00～17:00

☎ 0557-82-3000

●新型コロナウイルス予防接種について
予約は不要です。受付にてお申込みください。

対象	接種費用（税込）	備考
一般 （高校生以上）	15,400円	
熱海市在住の65歳以上	3,000円	市の助成対象

●インフルエンザ・コロナ同時接種をご希望の方へ
受付時に「同時接種希望」とお申し出ください。

ラジオ番組：FM熱海湯河原（79.6MHz） 「話の図書館」放送開始しました。

放送日時 毎月第1・第3月曜日 / 13:00～13:15

地域の皆さんに医療をより身近に感じていただけるよう、10月6日(月)からFM熱海湯河原にてオリジナルラジオ番組を開始しました。

本番組では、当院の医師をはじめとするスタッフがパーソナリティを務め、診療内容や健康に関する情報、病院内の取り組みや地域での活動などを、わかりやすく親しみやすくお伝えします。ぜひお聴きいただき、身近な“声の図書館”としてご活用ください。

【聞き逃し配信】

当院のホームページ内でも聞き逃し配信を行っています。

<https://atami-tokoro.jp/about/pr/radio/>



クリスマスコンサートを 3階 外来ロビーで開催します。

日時 2025年12月13日（土） / 14:00～

入院・通院の患者さんや、お見舞いにお越しの方はもちろん、一般の方もぜひお気軽にお立ち寄りください。入場料は無料です。クリスマスの音色とともに、心やすらぐひとときをお過ごしください。

【出演予定】

ソプラノ 伊藤 美央
テノール 杉浦 誠 名誉院長
サクソ 勝又 綾香
ピアノ 川口 美紗紀



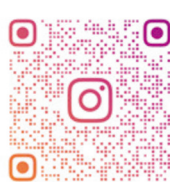
■みなさんからの評価、励みになります！

よろしければ当院の印象に残ったサービスや、雰囲気などのご意見・ご感想をいただけると幸いです。
バーコードを読み取りご回答ください。



■SNSで情報を発信しています

外来担当医表の更新案内や公開講座のお知らせをはじめとした、様々な情報を配信しています。
ぜひ、フォローをお願いいたします。



■院内では不織布マスクの着用をお願いいたします

院内には、様々な疾患の患者さんがいらっしゃいますので、引き続き、不織布マスクの着用をお願いいたします。不織布マスクには空気中の飛沫が体内に入るのを防ぐ効果、咳やくしゃみで出た飛沫が外へ飛散するのを防ぐ効果があります。不織布マスクを正しくつけていれば、つけていない状態と比べて、吸い込む飛沫量を3分の1程度にでき、吐き出す飛沫量は8割程度抑制できるといわれています。

■一緒に働く仲間を募集しています

熱海所記念病院では、一緒に働く仲間を募集しています。
職種や詳細は採用サイトをご覧ください。



病院理念

- いつでもかかれる心やすらぐ病院
- 働きがいのある明るい病院
- 地域と共に歩む開かれた病院

基本方針

- 患者さんを中心とした医療に努めます。
- 救急医療体制の充実に努めます。
- 医療連携により、地域医療の向上に努めます。
- 患者さんの権利とプライバシーの保護に努めます。
- 医療人としての資質の向上に努めます。
- 良質な医療環境の提供に努めます。
- 効率的で安定感のある健全経営に努めます。

病院の最新情報はホームページよりご確認ください。
こちらのバーコードよりご覧ください。



ひまわり 136 号 2025 年 11 月発行
編集・発行/熱海所記念病院 広報委員会
医療法人社団伊豆七海会熱海所記念病院
〒413-0022 静岡県熱海市昭和町 20-20
☎0557-82-3000
<https://atami-tokoro.jp/>